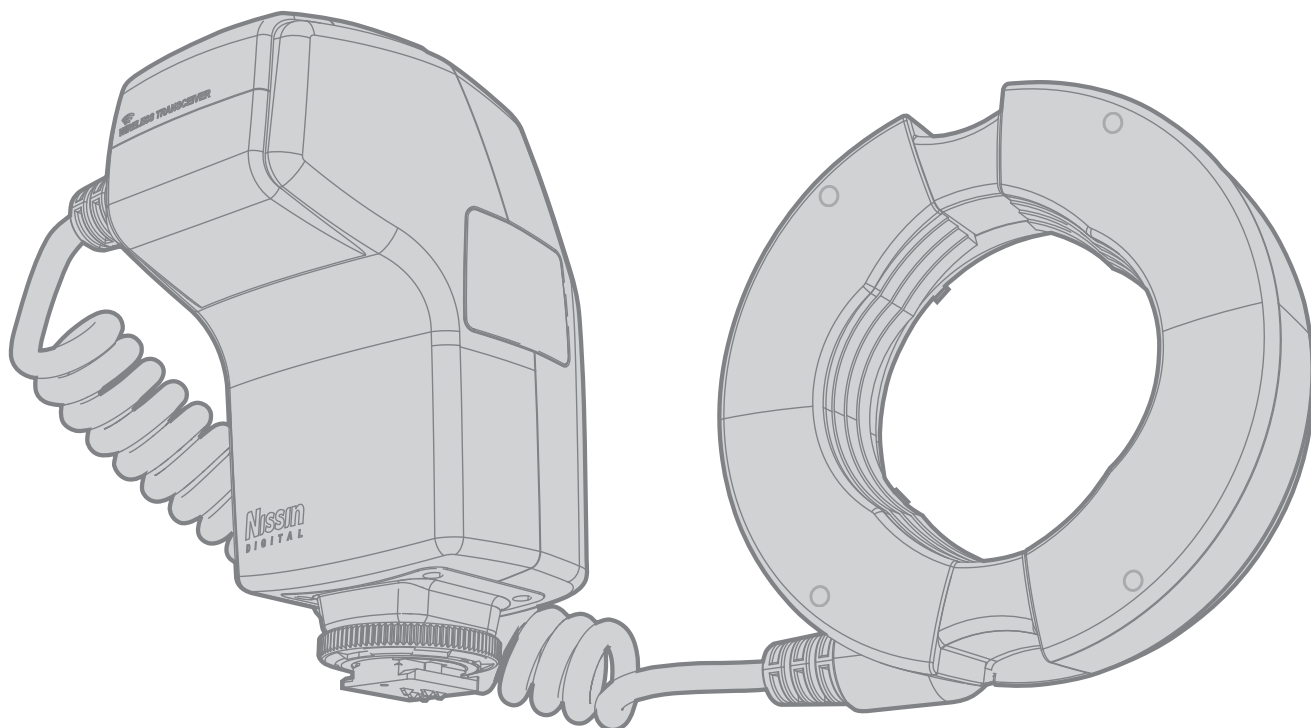


MF18

デジタルマクロ

キヤノン用／ニコン用／ソニー用

取扱説明書



ニッシン製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用にあたっては、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。また、カメラの操作・機能に関しましては、ご使用になるカメラの取扱説明書をご参照ください。

対応カメラ

最新の対応カメラ一覧表は、
<https://www.nissin-japan.com>でご確認ください。

製品保証について

本製品はメーカー保証が適用されますので製品添付の保証書、購入証明書を大切に保管してください。なお、本製品の付属アクセサリは消耗品扱いとなりますのでメーカー保証は適用されません。

安全上のご注意 ■必ずお守りください。

ご使用になる人や他人への危害、財産への損害を未然に防止する為、お守り頂くことの説明をしています。よくお読みになり取扱いにご注意ください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。必ずお守りください。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。必ずお守りください。



警告

- 本機は高電圧の部品を使用していますので、絶対に分解しないでください。修理の場合は、弊社サービスステーションかまたは、ご購入されたお店にお持ちください。
- 落としたり、破損したりした場合、または機器の中に物体が落ち込んだ場合には、絶対に露出部分に触れないでください。
- 人の目の前（特に乳幼児）に近づけて発光しないでください。目の近くで発光させると、視力傷害を起こす危険性があります。特に乳幼児を撮影する場合は1m以上離れてください。
- コップ、化粧品、薬品の入った容器のそばで使用しないでください。こぼれたり、機器の中に入ったりした場合、火災、感電または傷害の原因になります。
- 本機は防水ではないので、雨がかかる場所や、湿度の高い場所に置かないでください。
- 自動車など40℃を超えるような高温になる場所に放置しないでください。
- 可燃性ガスおよび爆発性ガスなどが大気中に存在する恐れがある場所で使用しないでください。



注意

- 電池を高熱にさらさないでください。
- 乾電池は充電しないでください。
- 不安定な場所で本機を使用しないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下したりすることにより怪我の原因となる場合があります。
- ストロボの発光管は発熱により劣化、破損する場合があります。発熱による劣化を防止するため、連続発光は20回までに抑えてください。また、20回連続発光したあとは、10分以上休止してください。



その他の注意

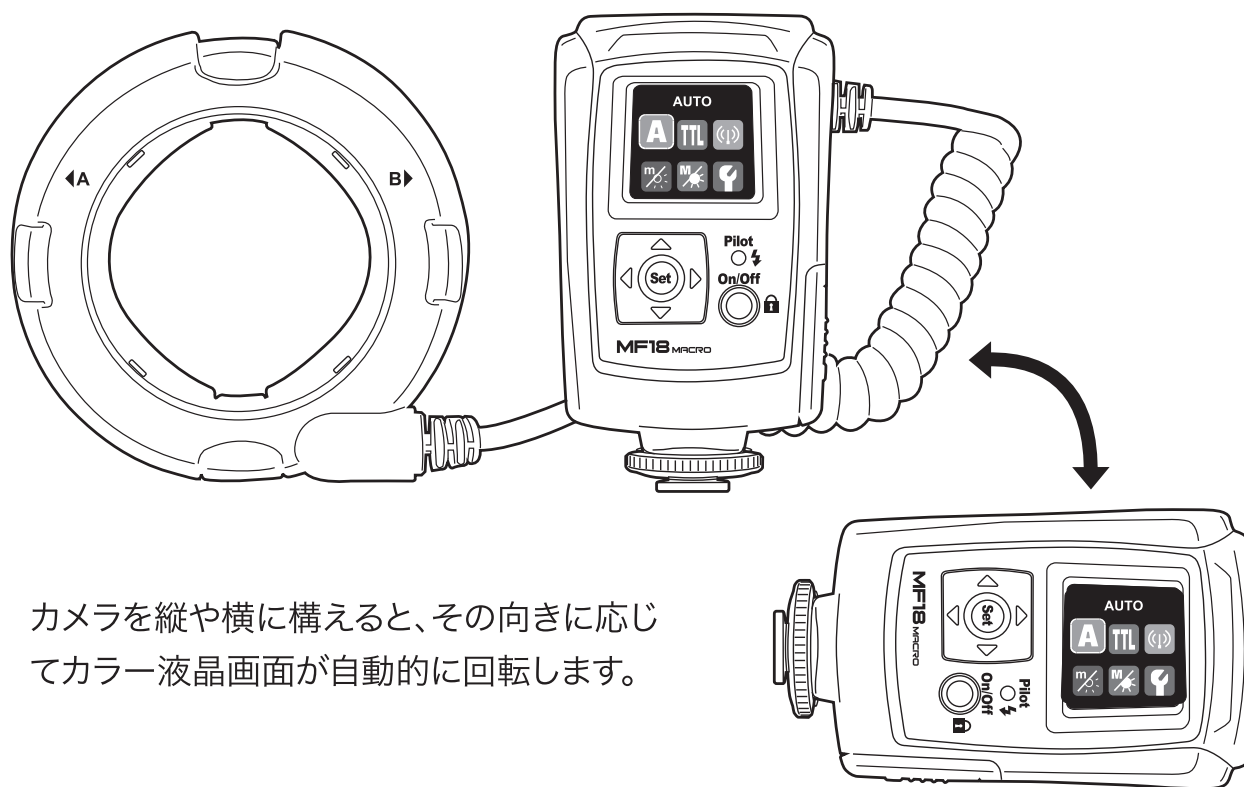
- ベンジンやシンナー、アルコールなどで本機を拭かないでください。変色や変形の原因となります。汚れのひどいときは柔らかい布で乾拭きしてください。
- 本機を長期間使用しない場合は、電池を抜いて保管してください。

目次

対応カメラ	2
製品保証について	2
安全上のご注意	3
主な特徴	5
各部名称／付属品	6
メニュー画面について	
基本的な発光モードと機能について	7
より進んだ設定について	
キヤノン(ストロボで設定する機能について)	8
ニコン(カメラ側で設定する機能について)	8
ソニー(ストロボで設定する機能について)	8
お使い頂く前に	
電池を入れてください	9
基本操作	
カメラに装着する	10
発光リングの拡張方法／カメラから取り外す／電源を入れる	11
モデリングLEDランプ機能と省電力機能について	
モデリングLEDランプ機能	12
省電力機能	12
モードと機能の設定	
フルオートモード	13～14
TTLモード(調光補正機能付き)	15～16
ワイヤレスTTLモード	17～20
ファインマクロモード(微小発光モード)	21
マニュアルモード	22
カスタム設定モード	23～27
その他の特徴	
ファームウェアアップデート用USB端子	28
シンクロ端子	28
ガイドナンバー表	29
トラブルシューティング	29
主な仕様	30

主な特徴

MF18 の特徴 ①：回転式カラー液晶



カメラを縦や横に構えると、その向きに応じてカラー液晶画面が自動的に回転します。

MF18 の特徴 ②：簡単操作

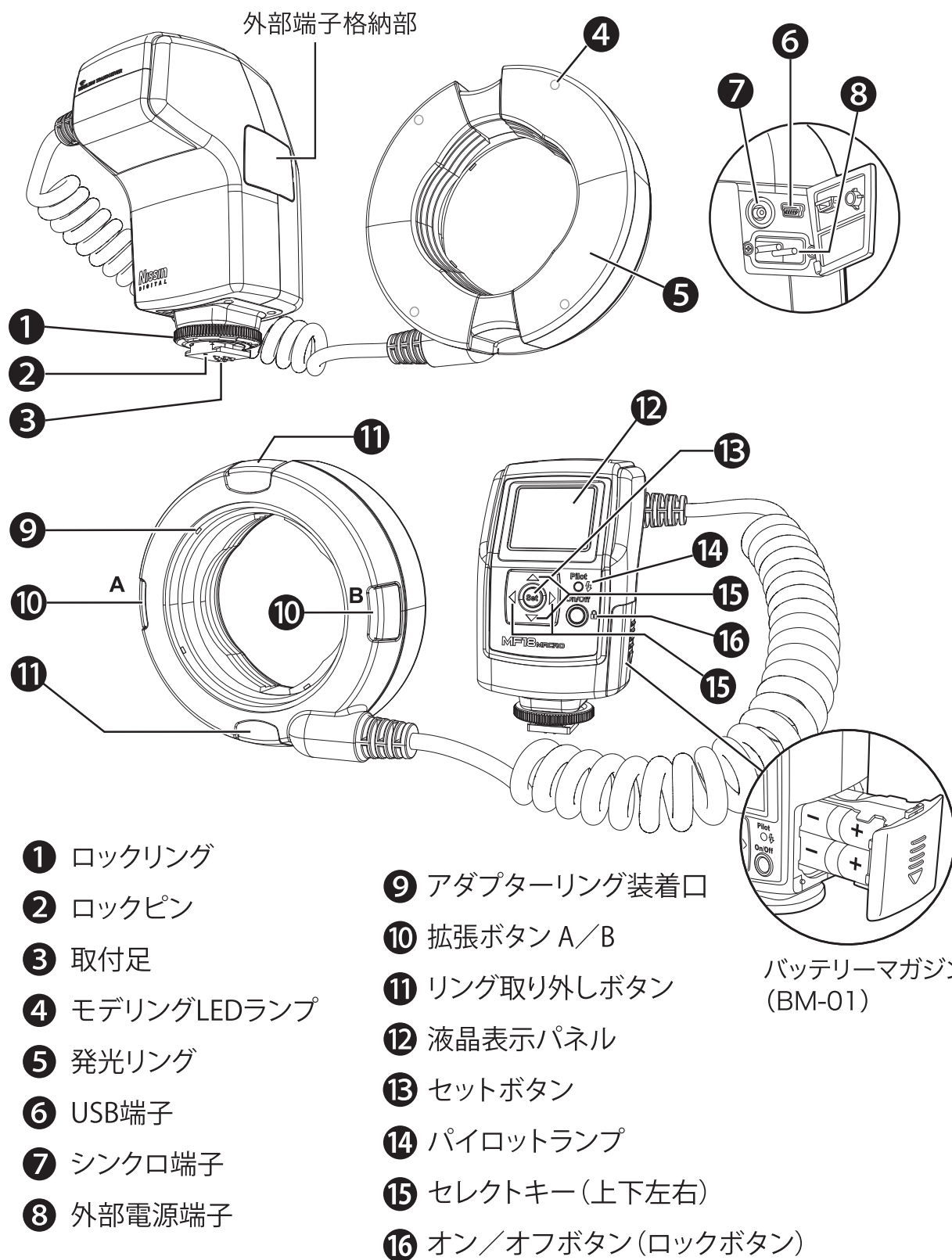
基本的なストロボ撮影は、MF18をカメラに装着するだけでOKです。

MF18 の特徴 ③：先進機能

MF18は後幕シンクロや、ハイスピードシンクロにも対応*しています。

*カメラが対応していない場合は使用できません

各部の名称



● 付属品

クイックマニュアル

アダプターリング 6本 52/58/62/67/72/77 mm (キヤノン / ニコン用 * 55mm は別売)
49/55/62/67/72/77 mm (ソニー用)

メニュー画面について

基本的な発光モードと機能について



- A** ... フルオートモード
- TTL** ... TTL自動調光モード
- (ワイヤレス)** ... ワイヤレスTTLモード
- m** ... ファインマクロ (微小調光) モード
- M** ... マニュアルモード
- (レンチ)** ... カスタム設定モード

A **フルオートモード** P.13~14
発光量が自動的に調節されます。初心者の方にお勧めのモードです。

TTL **TTL自動調光モード** P.15~16
発光量が自動的に調節されます。ストロボによる微調節ができ、サブ発光機能もご使用になれます。

(ワイヤレス) **ワイヤレスTTLモード** P.17~20
ワイヤレスでTTL制御できるモードです。本機をマスターに設定することができます。

m **ファインマクロ (微小調光) モード** P.21
発光量を1/128から1/1024まで1/6EVステップごとに設定できます。

M **マニュアルモード** P.22
発光量を手動で調節できます。

(レンチ) **カスタム設定モード** P.23~27
お客様のお好みに本機をカスタマイズすることができます。

より進んだ設定について

キヤノン カメラ側で設定する機能について



FEロック

P.24

最初にストロボの調光をロックした後にフレームを移動させて撮影することができます。

キヤノン ストロボで設定する機能について



先幕シンクロ機能

P.25

先幕が全開後、即時ストロボ発光します。



ハイスピードシンクロ機能

P.25

ストロボ同調スピードよりも速いシャッタースピードでストロボを発光させることができる機能です。



後幕シンクロ機能

P.26

シャッター幕が閉じられる直前にストロボ発光を行います。

ニコン カメラ側で設定する機能について



FVロック

P.24

最初にストロボの調光をロックした後にフレームを移動させて撮影することができます。



先幕シンクロ機能

P.26

先幕が全開後、即時ストロボ発光します。



FP発光機能

P.26

ストロボ同調スピードよりも速いシャッタースピードでストロボを発光させることができる機能です。



後幕シンクロ機能

P.26

シャッター幕が閉じられる直前にストロボ発光を行います。

ソニー ストロボで設定する機能について



先幕シンクロ機能

P.27

先幕が全開後、即時ストロボ発光します。



ハイスピードシンクロ機能

P.27

ストロボ同調スピードよりも速いシャッタースピードでストロボを発光させることができる機能です。

ソニー カメラ側で設定する機能について



後幕シンクロ機能

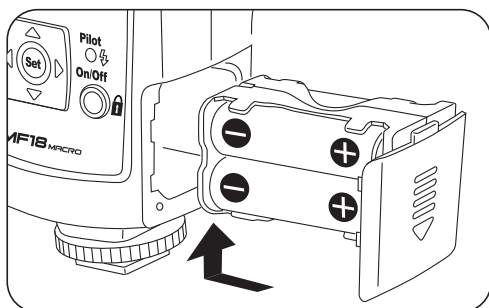
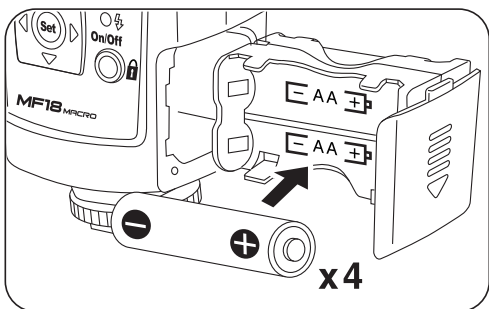
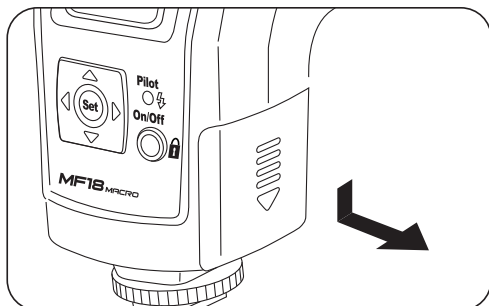
P.27

シャッター幕が閉じられる直前にストロボ発光を行います。

お使い頂く前に

電池を入れてください

使用できる電池：ニッケル水素電池、アルカリ電池、リチウム電池



1. バッテリーマガジンを取り外して、単3電池4本を図のように挿入します。
2. バッテリー室は、同じ方向に電池を挿入できますので、暗い場所でも電池の入れ替えが楽にできます。
3. 電池室の+/-のマークに従って、電池を挿入してください。
4. バッテリーマガジンを本体に戻してください。

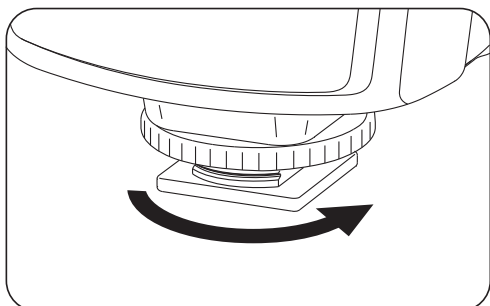
チャージタイムが10秒以上になる場合は、新しい電池に交換して下さい。

！ 注意

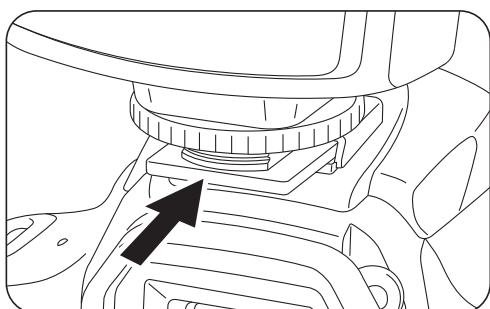
電池は、同じブランドで同じタイプの新しい電池を使用してください。同時に交換することをお勧めします。また、充電電池の場合は、すべて同時に充電した電池を使用してください。

基本操作

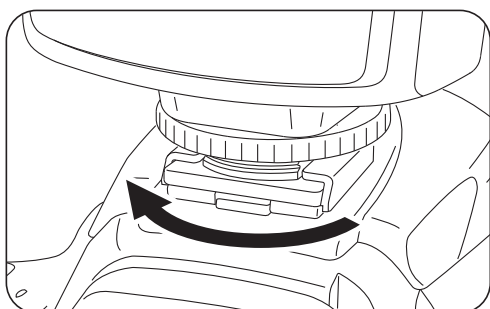
カメラに装着する



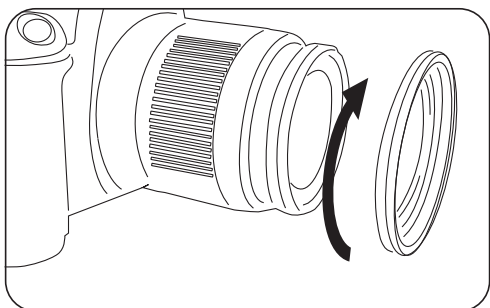
1. MF18 本体とカメラの電源をあらかじめ OFF にしておきます。
2. MF18 のロックリングを図のようにまわして緩めます。



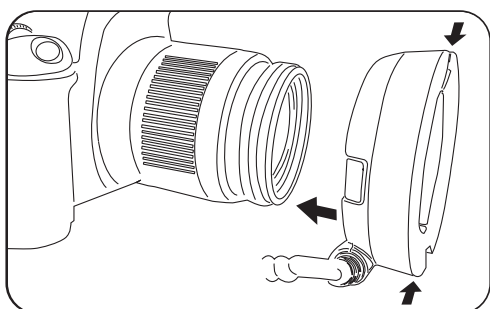
3. MF18 の取り付け足をカメラのホットシューに差し込みます。



4. ロックリングを図のように回して、締めつけます。

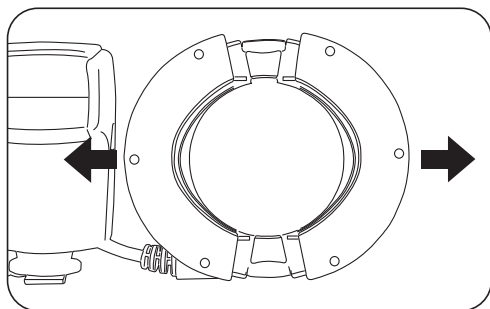


5. レンズのフィルター径と同じサイズのアダプターリングをねじ込んで取り付けます。

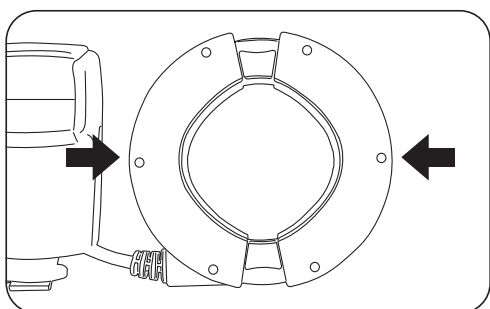


6. 発光リングをアダプターに取り付けます。発光リングの「リング取り外しボタン」を押した状態で、アダプターに取り付けてください。
7. 装着後、軽く引っ張って確実に装着されたか確認します。

発光リングの拡張方法



- 発光リング装着後、拡張ボタンA/Bを押して、発光リングの左右発光部を外側に広げることができます。これにより、画面周辺部が暗くなる現象(ケラレ)を軽減することができます。



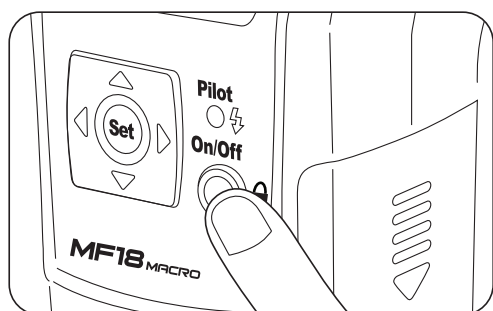
- 当社マクロフラッシュはマクロレンズとの組み合わせが好ましいですが、ズームレンズを使用する場合には、ケラレを避けるために適当な焦点距離に調整してください。

カメラから取り外す

- ロックリングを緩め、MF18の取り付け足をカメラのホットシューから外します。ロックピンがホットシューに引っかからないように、ロックリングを十分に緩めるようにしてください。

次に、リング取り外しボタン押しながら発光部を外します。最後に、アダプターリングを回して、レンズから取り外します。

電源を入れる

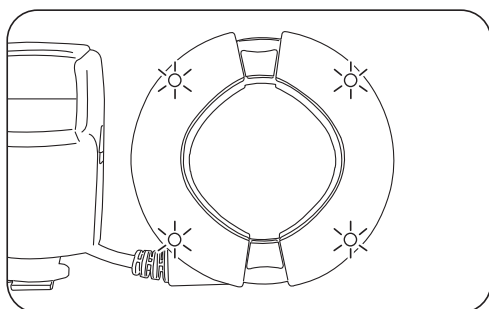
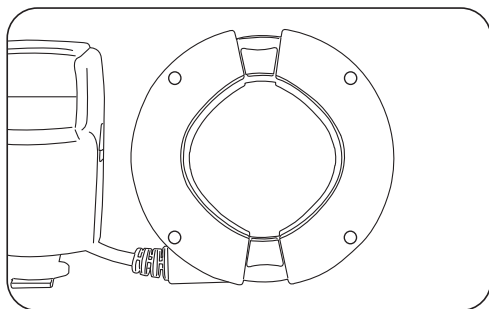


- 「オン/オフボタン」を押します。メイン画面が表示されます。
- パイロットランプが赤色に点滅し、チャージを開始します。
- 数秒後にパイロットランプが緑色に点灯します。
- 操作を最後に行った後、液晶画面は自動的に30秒後に消えます。

モデリングLEDランプ機能と省電力機能について

モデリングLEDランプ機能

- モデリングLEDランプは、ピント合わせに大変便利ですが、発光リングの光量比に従って左右のLED照射量が変化しますので、照明効果を事前にチェックするのも役立ちます



1. モデリングLEDランプを点灯させるには、2秒間SETボタン **Set** を押します。
2. モデリングLEDランプはストロボ発光により一時的に消えたあと、次の撮影のために再点灯します。LEDランプ点灯中は  マークが液晶画面に表示されます。
3. モデリングLEDランプを解除するには、2秒間SETボタン **Set** を押します。

省電力機能

1. 本機は、カメラが操作されなくなってから、または最後に操作が行われてから約30秒後に自動的にスタンバイモードに入ります。より電力を節約するために、カスタム設定によりディスプレイ設定をOFFにして表示時間を短くすることができます。この場合は、無操作状態から約8秒後にスタンバイモードに入ります。MF18がスタンバイモードの間は、液晶画面は消えたままになり、スタンバイモードであることを示すために、緑のパイロットランプが2秒ごとに点滅します。液晶画面を復帰させるには、カメラのシャッターボタンを半押しするか、ストロボ本体のボタンのどれかを押してください。
2. MF18が30分以上操作されない場合、本機の電源がオフになります。電源をオンにするためには、もう一度「オン／オフボタン」を押して再起動してください。

モードと機能の設定

A

フルオートモード

本モードでご使用になれるカメラのモード: **キヤノン**

[**A⁺**] フルオート、[**P**] プログラム、[**Tv**] シャッタースピード優先モード、

[**Av**] 絞り優先モード、[**M**] マニュアル、

 ポートレート、 景色、 クローズアップ、 スポーツ、

 人物と夜景

本モードでご使用になれるカメラのモード: **ニコン**

[**AUTO**] フルオート、[**P**] プログラム、[**S**] シャッタースピード優先モード

[**A**] 絞り優先モード、[**M**] マニュアル、

 夜景、 マクロ、 スポーツ、 子供

 景色、 ポートレート

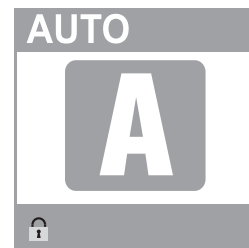
本モードでご使用になれるカメラのモード: **ソニー**

[**AUTO**] フルオート、[**P**] プログラム、[**S**] シャッタースピード優先モード

[**A**] 絞り優先モード、[**M**] マニュアル

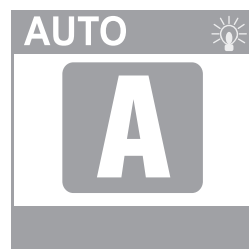
上記のカメラのモードに設定すると、E-TTL (キヤノン) / i-TTL (ニコン) / P-TTL (ソニー) の自動調光システムをご利用いただくことができます。

- MF18をカメラのホットシューに装着し、カメラと本機の電源をオンにします。
- 液晶画面は自動的にAが表示されます（工場出荷時の状態）。
- Aはフルオートモードです。
- この状態でカメラのオン/オフボタンを押すとモードがロックされます。（もう一度「オン/オフボタン」を押すとロックボタンが解除されます。）



設定は以上です。

- モデリングLEDランプを点灯させるには、セットボタン **Set** を2秒間長押しします。モデリングLEDランプ点灯中は、 アイコンが表示されます。もう一度SETボタン **Set** を2秒間長押しすると、LEDランプとアイコン表示が消えます。
- パイロットランプが緑に変わりましたら、カメラのシャッターを半押し、被写体にピントを合わせてください。
- カメラのファインダーか表示パネルにシャッタースピード、フラッシュマーク  が表示されます。
- シャッターを押すとMF18が発光します。結果はカメラのLCD画面に現れます。
- 発光量はカメラによって自動的に制御され、最適な露出を得ることができます。



モードと機能の設定



TTLモード(調光補正機能付き)

最新のデジタル TTL 調光システムでは、最適な露出のために自動的にストロボの発光レベルを制御しています。被写体と背景のバランスをとるために調光補正機能により、発光量を強めたり弱めたりすることもできます。

本モードでご使用になれるカメラのモード: **キヤノン**

[**A⁺**] フルオート、[**P**] プログラム、[**Tv**] シャッタースピード優先モード、

[**Av**] 絞り優先モード、[**M**] マニュアル、[**A-DEP**] 自動被写界深度モード、

 ポートレイト、 景色、 クローズアップ、 スポーツ、

 人物と夜景

本モードでご使用になれるカメラのモード: **ニコン**

[**AUTO**] フルオート、[**P**] プログラム、[**S**] シャッタースピード優先モード

[**A**] 絞り優先モード、[**M**] マニュアル、

 夜景、 マクロ、 スポーツ、 子供

 景色、 ポートレイト

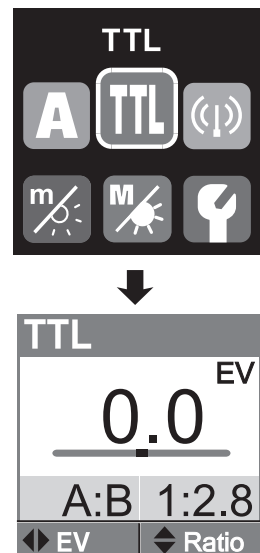
本モードでご使用になれるカメラのモード: **ソニー**

[**AUTO**] フルオート、[**P**] プログラム、[**S**] シャッタースピード優先モード

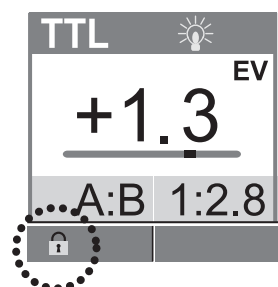
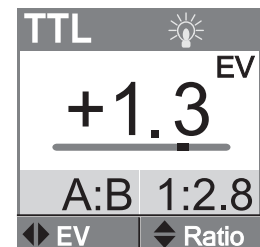
[**A**] 絞り優先モード、[**M**] マニュアル

上記のすべてのカメラモードに設定すると、E-TTL (キヤノン) / i-TTL (ニコン) / P-TTL (ソニー) の自動調光システムをご利用いただくことができます。

- 液晶画面に現在設定されているモードの画面が表示されます。
- セットボタン **Set** を押すと6つのアイコンが表示されるメニュー画面に切り替わります。
- セレクトキー $\triangleleft \triangleright \triangle$ により「TTL」を選びセットボタン **Set** を押します。(何も選択されない場合は、約8秒後に自動的に前に選択されていたモードの画面に戻ります。)
- 出荷時、TTL調光補正は0.0EVにセットされております。



- TTL 調光補正を行う場合 -3.0EV～+3.0EV まで 0.3EV 間隔で 19 ステップごとの値を選択できます。
- セレクト $\triangleleft \triangleright$ により補正值を選択します。
- セレクトキー $\triangle$ で発光リングの A サイド (左) と B サイド (右) の光量比を設定します。 $\triangle$ を押すと A サイドの光量が大きくなり、 ∇ を押すと B サイドの光量が大きくなります。光量比設定は 1/2EV ごとに 15 の組み合わせから選べます。
A:B=1 : -- (発光停止) - 8:1 - 5.6:1 - 4:1 - 2.8:1 - 2:1 - 1.4:1 - 1:1 - 1:1.4 - 1:2 - 1:2.8 - 1:4 - 1:5.6 - 1:8 - -- (発光停止):1



- モデリング LED ランプを点灯させるには、セットボタン **Set** を2秒間長押しします。モデリング LED ランプ点灯中は、 アイコンが表示されます。もう一度セットボタン **Set** を2秒間長押しすると、LED ランプとアイコン表示が消えます。モデリング LED の照射量は、光量比の設定を反映します。
- 設定値をロックする場合は「オン／オフボタン」を押してください。(もう一度オン／オフボタン」を押すとロックが解除されます。)
- 調光補正が必要な場合は、背景とのバランスをみながら、被写体の露出を調整してください。
- カメラによっては、カメラ側から調光補正を行うことができます。(詳しくはカメラの取扱説明書をご覧ください。)
- ストロボ側でも、カメラ側でも調光補正がセットされている場合は、両方の補正值が合算されます。
- 本機の液晶画面には、本機でセットした調光補正值のみが表示されます。

モードと機能の設定



ワイヤレスTTLモード

本モードでご使用になれるカメラのモード: **キャノン**

[**A+**] フルオート、[**P**] プログラム、[**Tv**] シャッタースピード優先モード、
[**Av**] 絞り優先モード、[**M**] マニュアル、

本モードでご使用になれるカメラのモード: **ニコン**

[**AUTO**] フルオート、[**P**] プログラム、[**S**] シャッタースピード優先モード
[**A**] 絞り優先モード、[**M**] マニュアル

本モードでご使用になれるカメラのモード: **ソニー**

[**AUTO**] フルオート、[**P**] プログラム、[**S**] シャッタースピード優先モード
[**A**] 絞り優先モード、[**M**] マニュアル

MF18 は光学式ワイヤレスTTL マスターフラッシュとして使用できます。カメラ側の発光リング A, B をマスターと呼びます。カメラから離して使用する外付けストロボは「リモート」(スレーブ)と呼びます。A または C グループにセットされたリモートストロボを本機の C グループに割り当てることができます。マスターとリモート(スレーブ)の通信には、4つのチャンネルが用意されています。

カメラとフラッシュ機種の見合わせについて

組み合わせ チャート図

マスターストロボ

MF18

キヤノン／ニコン
／ソニー

TTL / マニュアルモード
Cグループ

リモートストロボ の設定

チャンネル
1-2-3-4

グループA
又はC

チャンネル1
グループA

リモートストロボ

キヤノン

Nissin: MG8000、Di866MARKII、
Di866、i60A、i40、Di700、
Di700A (チャンネル共通)

Canon: 600 EX-RT、580 EX II、
580 EX、430 EXIII-RTA、
430 EX II、430 EX、
420 EX (TTLのみ)

ニコン

Nissin: MG8000、Di866MARKII、
Di866、i60A、i40、Di700、
Di700A (チャンネル共通)

Nikon: SB-600、SB-700、SB-800、
SB-900、SB-910、SB-R200

ソニー

Nissin: MG8000、Di866MARKII、
Di866、i60A、i40、Di700、
Di700A (チャンネル共通)

Sony: HVL-F60M、HVL-F58AM、
HVL-F45RM、HVL-F45M、
HVL-F43AM

Nissin: Di622MARKII、Di600
(キヤノン用／ニコン用)

※マスターストロボがキヤノンの場合は、
リモートストロボもキヤノン。

マスターストロボがニコンの場合は、
リモートストロボもニコン。

マスターストロボがソニーの場合は、
リモートストロボもソニー。

ワイヤレスTTLモード画面

- メニュー画面の6つのアイコンから、セレクトキー ◀ ▶ ◀ ▶ によりワイヤレスTTLモードを選びセットボタン **Set** を押します。

チャンネル設定

- 1-4のうちから使用するチャンネルを選びます。

調光補正

- TTLモード時、-3.0EV ~ +3.0EV(1/3ステップ)まで調光補正ができます。

キヤノン/ニコン

Master	
Channel	1
± EV	+3.0
A TTL	---
B TTL (A:B)	1:1
C TTL	+3.0

ソニー

Master	
Channel	1
± EV	+3.0
A TTL	---
B TTL (A:B)	1:1
RMT	+3.0

グループの設定

キヤノン/ニコン

A	TTL	0.0
B	TTL (A:B)	1:1
C	TTL	0.0

ソニー

A	TTL	0.0
B	TTL (A:B)	1:1
RMT		0.0

グループ:

A= 発光リング左側
B= 発光リング右側
C= リモートストロボ

発光モード:

TTL=TTL モード
M=マニュアルモード
RMT=リモートモード

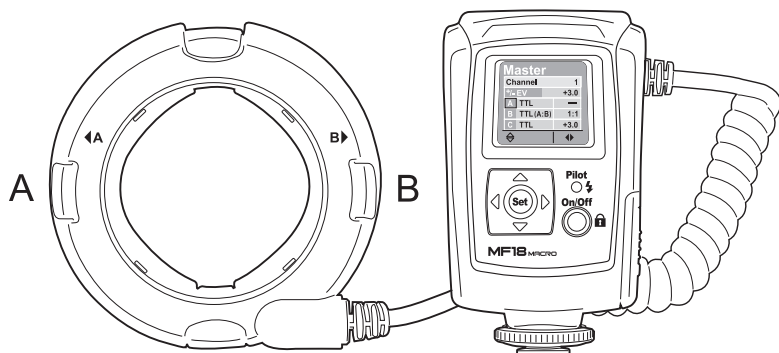
設定値:

調光補正 (TTL)
-0.3 ~ +0.3

光量比 (TTL)
(- :1, 1:8, 1:5.6, 1:4, 1:2.8, 1:2, 1:1.4, 1:1, 1.4:1, 2:1, 2.8:1, 4:1, 5.6:1, 8:1, 1: -)

発光量 (M)

(---, 1/128, 1/100, 1/80, 1/64, 1/50, 1/40, 1/32, 1/25, 1/20, 1/16, 1/13, 1/10, 1/8, 1/6.4, 1/5, 1/4, 1/3.2, 1/2.5, 1/2, 1/1.7, 1/1.3, 1/1)



ワイヤレス TTL において設定できるモードは TTL モードか M モードです。

TTLを選択した場合(キヤノン／ニコン用)

1. CH1 からCH4よりチャンネルを選びます。
2. セレクトキーよりA(グループA)のTTLを選択します。調光補正値を-3.0EV～+3.0EVに設定します。
3. グループAでTTLモードを選んだ場合、グループBは自動的にTTL(A:B)に設定されます。セレクトキーをグループBに移動した場合、A:Bの値は-(発光停止):1から1:- (発光停止)まで0.5EVステップで設定できます。
4. リモートストロボ(グループAまたはC)を設定する場合は、グループCにカーソルを合わせ、調光補正値を-3.0EV～+3.0EVに設定します。※

Master		
Channel		1
+/- EV		+3.0
A	TTL	---
B	TTL (A:B)	1:1
C	TTL	+3.0
◀ ▶ ▸		

「M」マニュアルを選択した場合(キヤノン／ニコン用)

1. CH1 からCH4よりチャンネルを選びます。
2. セレクトキーによりA(グループA)に合わせマニュアルに設定し、発光レベルを選びます。
3. グループAでマニュアルモードを選んだ場合、グループBは自動的にマニュアルに設定されます。セレクトキーをグループBに移動した場合の値は-(発光停止)から1/1まで1/3EVステップで設定できます。
4. リモートストロボ(グループAまたはC)を設定する場合は、セレクトキーをグループCに合わせ、発光量を1/128～1/1から選びます。※

Master		
Channel		1
+/- EV		---
A	M	1/128
B	M	1/128
C	M	1/16
◀ ▶ ▸		

「RMT」リモートを選択した場合(ソニー用)

1. CH1 からCH4よりチャンネルを選びます。
2. セレクトキーによりA(グループA)に合わせ、TTLを選択します。調光補正値を-3.0EV～+3.0EVに設定します。
3. グループAでTTLモードを選んだ場合、グループBは自動的にTTL(A:B)に設定されます。セレクトキーをグループBに移動した場合は、-(発光停止):1から1:- (発光停止)まで0.5EVステップで設定できます。
4. リモートストロボを設定する場合は、RMTにカーソルを合わせ、調光補正値を-3.0EV～+3.0EVに設定します。

※ グループ AとCを別々に制御することはできません。

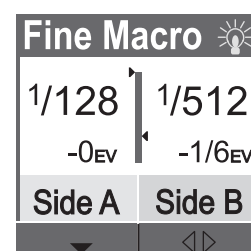
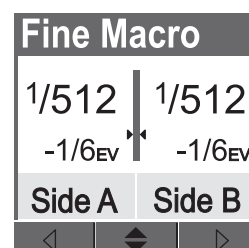
モードと機能の設定



ファインマクロモード(微小発光モード)

ファインマクロモードは発光量を 1/128 から 1/1024 まで 1/6EV ステップごとに設定できます。

- メニュー画面の6つのアイコンから、セレクトキー $\triangleleft \triangleright \diamond$ により**ファインマクロモード**を選びセットボタン **Set** を押します。
- AおよびBサイドの発光量の設定をするためセレクトキー $\diamond$ を押し発光量を調整します。AおよびBサイドの発光量を別々に調整することができます。
セレクトキー $\triangleleft \triangleright$ により、光量調節をおこなう発光部、「Side A」(Aサイドのみ)、「Side A/Side B」(ABサイド同時)、「Side B」(Bサイドのみ)を選びます。
セレクトキー $\diamond$ により、発光量を調節します。
- 発光量は1/128から1/1024(1/6EVステップ)まで選ぶことができます。
- モデリングLEDを点灯させる時は、セットボタン **Set** を2秒間押します。モデリングLEDランプ点灯中は、アイコンが表示されます。モデリングLEDを解除する時は、もう一度セットボタンを2秒間押します。



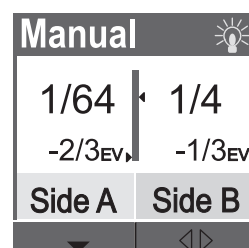
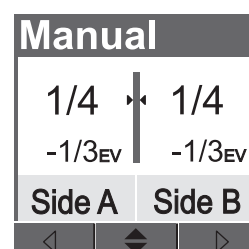
モードと機能の設定



マニュアルモード

発光量は 1/1 (フル) から 1/64-2/3EV (またはオフ : A または B サイドのみ設定する場合) まで 1/3 ステップごとに設定できます。

- メニュー画面の6つのアイコンから、セレクトキー $\triangleleft \triangleright \triangle$ により**マニュアルモード**を選びセットボタン **Set** を押します。
- AおよびBサイドの発光量の設定をするためセレクトキー $\triangle$ を押し発光量を調整します。AおよびBサイドの発光量を別々または同時に調整することができます。
セレクトキー $\triangleleft \triangleright$ により、光量調節をおこなう発光部、「Side A」(Aサイドのみ)、「Side A/Side B」(ABサイド同時)、「Side B」(Bサイドのみ)を選びます。
セレクトキー $\triangle$ により、発光量を調節します。
- 発光量は1/1から1/64-2/3EV(またはオフ)(1/3EVステップ)まで選ぶことができます。
- モデリングLEDを点灯させる時は、セットボタン **Set** を2秒間押します。モデリングLEDランプ点灯中は、 アイコンが表示されます。モデリングLEDを解除する時は、もう一度セットボタンを2秒間押します。



モードと機能の設定



カスタム設定モード

MF18 はカスタム設定モードにより、好みの設定に変更できます。

- メニュー画面の6つのアイコンから、セレクトキー により**カスタム設定モード**を選びセットボタン を押します。
- セレクトキー により項目を選び、セレクトキー により設定値を選択することができます。

Shutter (シャッター機能) キヤノン用／ソニー用

- 先幕シンクロ、ハイスピードシンクロ、および後幕シンクロ※を選択することができます。(設定方法はP.25、26)

※ キヤノン用のみ

Setting 1/2	
Shutter	
My TTL	0.0
Display	On
Rotate	On
Auto Off	30 min

My TTL (マイTTL設定)

- TTL調光レベルは、標準的な露出バランスが得られるように適正なレベルになっていますが、ニッシンオリジナルのマイTTL設定により、ユーザー自身が本機のTTL調光レベルを好みのレベルに微調整できることもできます。

設定範囲 -3.0EV～+3.0EVまで1/3EVステップごとに調整が可能です。

Setting 1/2	
My TTL	0.0
Display	On
Rotate	On
Auto Off	30 min

Rotate (液晶画面回転設定)

- 液晶画面の回転機能をOFFにすることができます。

Setting 1/2	
My TTL	0.0
Display	On
Rotate	Off
Auto Off	30 min

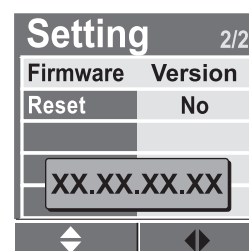
Auto OFF (オートオフ機能)

- 電源のオートオフの設定時間を変更することができます。選べる値は10分、15分、30分、45分、60分、またはOFFとなります。

Setting 1/2	
My TTL	0.0
Display	On
Rotate	On
Auto Off	30 min

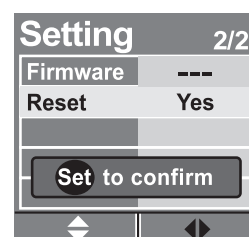
Firmware (ファームウェア)

- セレクトキーをおして**Firmware**を選択することにより搭載されているバージョンが見れます。
表示される8桁の数字のうち、右側4桁がバージョンを表しています。



Reset (リセット機能)

- 設定をリセットする場合は、セレクトキー◀▶で**YES**を選択しセットボタン **Set** を押します。すべての設定値がリセットされ、工場出荷時の値に戻ります。



カメラによってセットされる機能

キャノン

**FE.
Lock**

FEロック機能

MF18ではTTLモードで利用できます。被写体にピントを合わせ、カメラの<＊>または<FEL>ボタンを押すと調光がロックされます。
ファインダーより撮影アングルを決めシャッターを押します。

ニコン

**FV
Lock**

FVロック機能

MF18ではTTLモードで利用できます。カメラ側のFnまたはAE-LボタンによりFvがロックされます。再度FnまたはAE-Lを押すことで解除できます。被写体の露出量がストロボに記憶されます。ファインダーより撮影アングルを決めシャッターを押すと、記憶された値で発光します。

ソニー

**FEL
Lock**

FELロック機能

MF18ではTTLモードで利用できます。予めカメラのメニュー画面から任意のカスタムキーにFELロックを割り当てます。被写体にピントを合わせ、割り当てたカスタムキーを押すとMF18がプリ発光して発光量がロックされます。撮影アングルを決めてシャッターを押します。

先幕シンクロ、後幕シンクロ、ハイスピードシンクロ (FP) などの設定

アドバンス設定はクリエイティブなストロボ撮影が楽しめます。カメラ機種によってカメラとストロボで設定できます。

■ キヤノン用の場合 (ストロボ側でシャッター設定を行います)



先幕シンクロ機能

通常はストロボはシャッター幕が全開になった直後に発光します。これを先幕といいます。この方法は通常のストロボ撮影です。

- メニュー画面に戻りセットボタン **Set** を押します。
セレクトキー $\triangleleft \triangleright \diamond$ で **SETTING** を選択しセットボタン **Set** を押します。
- セレクトキー $\diamond$ で **Shutter** を選択し、 $\triangleright \triangleright$ でセットボタン **Set** を押します。

Setting 1/2	
Shutter	$\triangleright \triangleright$
My TTL	0.0
Display	On
Rotate	On
Auto Off	30 min
$\diamond$	$\triangleleft \triangleright$



TTL	
EV	
+1.3	
A:B	1:2.8
$\triangleleft \triangleright$ EV	$\diamond$ Ratio



ハイスピードシンクロ機能

MF18はカメラ側より高速なシャッタースピードで同調できます。日中の撮影などの場合通常のシャッタースピードは通常と同調スピードより速くなります。

- メニュー画面に戻りセットボタン **Set** を押します。
セレクトキー $\triangleleft \triangleright \diamond$ で **SETTING** を選択しセットボタン **Set** を押します。
- セレクトキー $\diamond$ で **Shutter** を選択し、 ⚡H でセットボタン **Set** を押します。

Setting 1/2	
Shutter	⚡H
My TTL	0.0
Display	On
Rotate	On
Auto Off	30 min
$\diamond$	$\triangleleft \triangleright$



TTL ⚡H	
EV	
+1.3	
A:B	1:2.8
$\triangleleft \triangleright$ EV	$\diamond$ Ratio



後幕シンクロ機能

後幕シンクロはシャッター幕が閉じる直前に発光します。後幕シンクロにより、スローシャッター時に、発光しながら動いている被写体を後方に流し、自然な動きを表現できます。カメラ側の設定方法については、カメラ側の取扱説明書をご参照ください。

- メニュー画面に戻りセットボタン **Set** を押します。
セレクトキー $\triangleleft \triangleright \diamond$ で**SETTING**を選択しセットボタン **Set** を押します。
- セレクトキー $\diamond$ で**Sutter**を選択し、 $\triangleright \triangleright$ でセットボタン **Set** を押します。

Setting 1/2	
Shutter	$\triangleright \triangleright$
My TTL	0.0
Display	On
Rotate	On
Auto Off	30 min
$\diamond$	$\triangleleft \triangleright$



TTL  $\triangleright \triangleright$	
EV	
+1.3	
A:B	1:2.8
$\triangleleft \triangleright$ EV	$\diamond$ Ratio

■ ニコン用の場合 (カメラ側で設定を行います)

ニコンの場合はシャッター機能をカメラ側より設定する必要があります。設定値は液晶画面に表示されます。

- メニュー画面に戻り**TTL**を選択しセットボタン **Set** を押します。
- カメラ側のメニューによりシャッター機能の設定を行います。

■ ソニー用の場合



先幕シンクロ機能 (ストロボ側でシャッター設定を行います)

通常はストロボはシャッター幕が全開になった直後に発光します。これを先幕といいます。この方法は通常のストロボ撮影です。

- メニュー画面に戻りセットボタン **Set** を押します。
セレクトキー $\triangleleft \triangleright \diamond$ で **SETTING** を選択しセットボタン **Set** を押します。
- セレクトキー $\diamond$ で **Sutter** を選択し、 $\triangleright \triangleright$ でセットボタン **Set** を押します。

Setting	
Shutter	$\triangleright \triangleright$
My TTL	0.0
Display	On
Rotate	On
Auto Off	30 m
$\diamond$	$\triangleleft \triangleright$



TTL	
+1.3 ^{EV}	
A:B	1:2.8
$\triangleleft \triangleright$ EV	$\diamond$ Rat



ハイスピードシンクロ機能 (ストロボ側でシャッター設定を行います)

MF18はカメラ側より高速なシャッタースピードで同調できます。日中の撮影などの場合通常のシャッタースピードは通常の同調スピードより速くなります。

- メニュー画面に戻りセットボタン **Set** を押します。
セレクトキー $\triangleleft \triangleright \diamond$ で **SETTING** を選択しセットボタン **Set** を押します。
- セレクトキー $\diamond$ で **Sutter** を選択し、 ⚡H でセットボタン **Set** を押します。

Setting	
Shutter	⚡H
My TTL	0.0
Display	On
Rotate	On
Auto Off	30 m
$\diamond$	$\triangleleft \triangleright$



TTL	
⚡H	
+1.3 ^{EV}	
A:B	1:2.8
$\triangleleft \triangleright$ EV	$\diamond$ Rat



後幕シンクロ機能 (カメラ側でシャッター設定を行います)

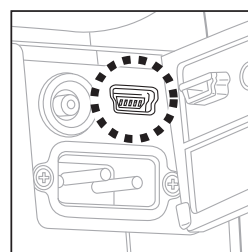
カメラのメニュー画面でフラッシュモードの項目を後幕シンクロに設定します。

その他の特徴

外部電源を使用すると、発光回数を増やし、発光間隔を短くすることができます。本製品には下記の外部電源が使用できます。MF18は20～30回連続発光した場合、過熱防止するため自動的に電源が切れます。自然放熱したあと約15分後に回復します。外部電源を使用する場合本体の電池も使用しますので、本体の電池が消耗しておりますと、ストロボ本体が機能しなくなりますのでご注意願います。本体充電に20秒以上時間がかかる場合は新しい電池に交換してください。

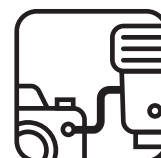
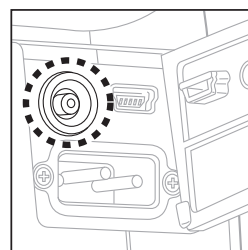
ファームウェアアップデート用USB端子

ファームウェアのアップデートのためにMF18はUSB端子を備えております。アップデートを行う場合は、ニッシンジャパンへご依頼ください。アップデートに関する情報はニッシンジャパンのホームページ<https://nissin-japan.com> でご覧いただけます。



シンクロ端子

MF18はシンクロコードによる接続ができるシンクロ端子をご用意しています。市販のシンクロコードによりカメラのシンクロターミナルと接続し、本機と同調させることができます。



ガイドナンバー表

ISO100の時のマニュアル発光ガイドナンバー

Full	1/2	1/4	1/8	1/16	1/32	1/64	1/128
16	11.31	8	5.66	4	2.83	2	1.41

トラブルシューティング

ストロボがチャージしない。

- 電池の向きを確かめて、
▶▶▶ 逆向きになっている場合は正しく挿入してください。
- 電池が消耗していないか確認して、
▶▶▶ 消耗している場合は、新しい電池と交換してください。

ストロボが発光しない。

- ストロボがカメラにしっかり固定されているかどうか確認してください。
▶▶▶ しっかり固定しないなかった場合は、奥まで差し込んで固定してください。
- ホットシューの接点に汚れがないか確認してください。
▶▶▶ 汚れている場合は、乾いた布で拭いてください。
- オートオフ機能により電源が切れている場合があります。
▶▶▶ その場合は、電源を再度入れ直してください。

写真が露出オーバーまたはアンダーになる。

- 被写体のそばに反射物などがあって、正常に調光されない場合があります。
▶▶▶ その場合は、FVロック機能をご使用ください。

主な仕様

対応カメラ	キヤノン製EOSデジタル一眼カメラ、ニコン製デジタル一眼カメラ、ソニー製デジタル一眼カメラ
ガイドナンバー	16 (ISO100相当)
照射角	80°x80°
電源	単3形電池4本使用(電池別売)
電池収納方式	クイックローディングシステム
発光間隔	約0.1～5.5秒(ニッケル水素電池、アルカリ乾電池)
発光回数	約120～800回(アルカリ乾電池の場合)※使用モードにより異なります。
モード	フルオート ・・・ E-TTL/E-TTL II (キヤノン用)、i-TTL/i-TTL-BL(ニコン用)、P-TTL/ADI(ソニー用) TTL ・・・ E-TTL/E-TTL II (キヤノン用)、i-TTL/i-TTL-BL(ニコン用)、P-TTL/ADI(ソニー用) ファインマクロ ・・・ 1/128～1/1024、1/6EVステップ マニュアル ・・・ FULL～1/64と-2/3、1/3EVステップ
後幕シンクロ	可
ハイスピードシンクロ	可(TTLモード時のみ)
ストロボ調光補正機能	-3.0～+3.0、1/3EVステップ
マイTTL設定	-3.0～+3.0、1/3EVステップ
オートフォーカス補助LED	4灯
色温度	約5,600K
閃光時間	1/700(発光リング左右両方ともフル発光) 1/300(発光リング片側のみフル発光)、1/700～1/30,000秒(左右両方)
ワイヤレスTTLマスター機能	チャンネル数:4、 グループ制御:2グループ(A,C)、 モード:TTL / マニュアル
ワイヤレス発光方式 *リモートストロボとして 制御可能な機種	キヤノン用 ・・・ キヤノン580EXII, 580EX, 430EXII, 430EX, 420(TTLのみ), ニッシンデジタルDi866 MARK II, Di866, Di622 MARK II(Ch.I, Gr.Aのみ), i60A, i40, D700, D700A ニコン用 ・・・ ニコンSB-910, SB-900, SB-800, SB-700, SB-600, SB-R200, ニッシンデジタルDi866 MARK II, Di866, Di622 MARK II(Ch.I, Gr.Aのみ), i60A, i40, D700, D700A ソニー用 ・・・ HVL-F60M, HVL-F58AM, HVL-F45RM, HVL-F45M, HVL-F43AM, ニッシンデジタルMG8000, Di866MARKII, Di866, i60A, i40, Di700, Di700A(チャンネル共通)
節電機能	オートパワーOFF・・・30分後(OFF/10分/15分/30分/45分/60分) スタンバイモード・・・30秒後
背面操作部	カラーLCD表示(表示自動回転機能付き)
ファームウェアアップデート端子	USB端子「専用端子」
シンクロ端子	有
外部電源端子	ニッシン製または純正外部電源可
付属品	アダプターリング(52/58/62/67/72/77mm キヤノン/ニコン用) (49/55/62/67/72/77mm ソニー用)
寸法(幅x高さx奥行)	メインボディ ・・・約65x115x85mm 発光リング ・・・約134x120x41mm
質量	446g(電池除く)

※製品の仕様は、改良などにより予告なく変更することがあります。

Nissinは、ニッシンジャパン株式会社の登録商標です。その他記載の会社名や製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

★カメラとの対応状況やファームウェアアップデートについては、ニッシンジャパンのホームページ各製品情報をご覧ください。

★お問い合わせはホームページのお問い合わせフォームをご利用ください。

Nissin ニッシンジャパン株式会社

〒166-0002 東京都杉並区高円寺北1丁目17番5号 上野ビル2F

ニッシンジャパンのホームページ <https://www.nissin-japan.com>

Ver. 19112202